

Mt.kogashi

NPO法人古賀志山を守ろう会
会報誌第13号 発行人池田正夫
発行日 H30年8月1日

事務局 〒320-0811

宇都宮市大通り 2-4-18

NPO法人古賀志山を守ろう会

HP <https://npo-mt-kogashi.jimdo.com>

Email npo.mt.kogashi@gmail.com

I 階段整備進む—P540 と赤松岩との鞍部



階段整備に必要な半割檜材は宇都宮森林組合長(福田嘉男氏)から寄贈された。同氏は当会の会員である。設置までには、半割檜材(約2m)を必要な長さ(約60cm)に切断、皮むき、荷上げの行程を経ての作業である。会員の汗の結晶である。



赤松岩の岩場 (下写真)



現地は福岡町細野山のP540と赤松岩との鞍部(●)にあたる。P540からの下り斜面は滑り易く階段を設置する必要性があった。地主の同意書を添えて「みどりのまちづくり課」に申請した。

尚、難所の赤松岩の岩場(★)には補助用鎖及びU字形ステップを設置する予定である。

ししおとし II 猪落 近き将来、桜の花の名所に

猪落と云う地名は、対面岩のある前衛岩壁自体を指すだけではない。小字名であるため、現在伐採が進行中の南斜面を含み、古賀志山大神の岩壁の南斜面から南階段コース以西にまたがる一帯を指す。地主北條哲男氏（当会副理事長）は、公益財団法人「日本桜の会」会員でもあり、桜を植樹する構想を企画している。伐採予定面積は、古賀志山大神の南斜面を境に南階段コースの西側に跨り7・5haに及ぶ。



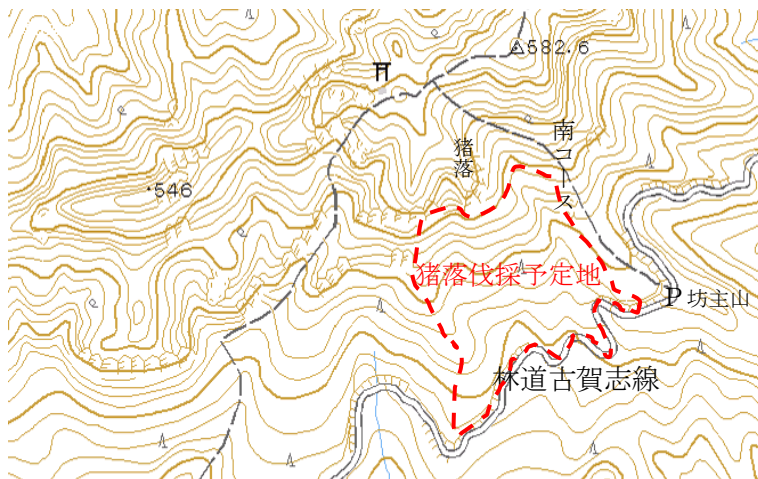
伐採終了後の南斜面一帯に桜の苗木

(まいひめ 舞姫、じんだい あけぼの 神代曙、

やえべにしだれ 八重紅枝垂) を植え、

この小字猪落一帯を桜の名所にしたいとの一大構想である。

また、伐採前のこの南斜面には、針葉樹林帯の中にミツマタが多く自生していたが、これから新芽を吹き返し、成長すると花の名所に一つの要素が加わる。



III 会費納入状況 平成30年8月1日現在

当会の活動及び運営は、会員各位の年会費と市民活動助成金で賄われている。納付状況は下記の通り。

○正会員個人	61名	納付率	83.6%	団体	3	納付率	33.3%
○賛助会員個人	37名	納付率	83.8%	団体	1	納付率	0%

IV 日光森林管理署へ要望書の提出

赤川右岸に新設された膳棚林道は、岩を削り取った斜面の岩石が不安定な状況下であり落石の危険度が極めて高い。当会は、所管の日光森林管理署に対して、落石防止金網を設置する旨の要望書を提出した。人命は工事費よりも高い。この芝山橋付近は、10月下旬に行われるジャパンカップのコースに隣接しており見物客も多い。登山者のみならず森林公園を訪れる老若男女多くの人たちに事故が発生してからでは遅い。早急な対策が望まれる地点である。



平成30年7月25日(水)、宇都宮市観光交流課職員、当会(池田正夫、岩田雄一)3名が日光森林管理署を訪れ要望書を手渡した。管理署側は、林道として開発したもので登山道ではないとの基本線を示したが、誠意ある回答が待たれるところである。

V 道迷い多し

福岡町細野の北コースから入山し、古賀志山頂に至り南階段コースを下って森林公園に戻るのが初めて訪れるハイカーの定盤コースである。その内の何組かは林道古賀志線に出た時点で左折せず、右折して古賀志町城山西小まで下ってしまうケースが見受けられる。理由を尋ねると、道標の見落としもあるが、立看板「この先通行禁止」の文言に大きく左右されている。(写真参照)



現存する道標が目線の高さになく階段の上部あるのも問題点の一つである。別の道標に「赤川ダム」の表示があり、初心者が迷う要因の一つである。「赤川ダム」を「森林公園」の表示に替えるだけでも道迷いは防げる。市当局に問題点を提起したい。